

2011-02-23(水)

■ドキュメンタリー映画を観る

食の社会見学シリーズ第一弾、アメリカ編
「フード・インク」を観に行った。

この手の映画は大抵、ミニシアターで公開される。
あまり宣伝しないので、映画公開情報を
定期的にチェックする。私は一人で行ったけど
同じ年くらいのカップルやおじさんグループ、
子供を連れてた母親なんかも来ていた。

工場やら養鶏場やら農場やらに、個人的に
見学に行くには限度がある。一日に何か所も
回れないし、団体しか見学できなかったり、
そもそも企業秘密だったりする。

映画を観れば、そのテーマについて
現状を一通り知ることができる。

この映画はインタビューが多くて、
内容が分かりにくかった。これはアメリカの話で、
風土や文化が日本とは違う。アメリカのスーパーで
日常的に買い物しないし、アメリカの食品行政も分からない。
分かりにくいので本まで買ってしまった。

ドキュメンタリー映画はそのテーマについて
知りたいから見るのだけど、映画としても楽しめる
方がいい。「いのちの食べかた」の方が良かったな。
淡々と映し出される映像に、引き込まれる。

(アラサー女子)